

自己評価結果公表シート（令和1年度）

認定こども園 貢川進徳幼稚園

1、学校の教育・保育目標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らすすんで、いきいきと行動する子 2. 情操ゆたかに、思いやりの心を持つ子 3. 広い視野をもち、よく考え工夫する子
--

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した自己評価の具体的な目標や計画

<p>①幼保連携型認定こども園教育・保育要領の研究及び実践に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児や幼児の会議の時間・回数の充実を図り、月・週単位の計画や行事の検討と園内での認識共有を深める。 ・環境（室内・園庭）の見直し・検討を進め、本物を知り、実体験の充実を図る。 <p>②子どもが安心して過ごせる環境の整備と対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の設置（ホールや2階の教室）を行う。 ・園内外の設備の充実に向けて必要な修繕及び備品等の購入について、検討を進める。 ・各クラスの部屋の使用及び配置の検討を行う。 ・安全・衛生管理などの各種マニュアルの改定（国のガイドライン等の変更を反映） <p>③地域・保護者に対する園機能の還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おひさまオープンデー」及び「ことばの部屋」の拡充を行う。 ・保護者向けのICT化の有効活用や即時の情報共有の仕組みを検討・運用する。 ・保護者・地域に向けた情報発信の在り方（ツイッターやHPなど）の見直しを行う。

3、評価項目の達成及び状況

評価項目	結果	理由
幼保連携型認定こども園教育・保育要領の研究及び実践に向けた検討	B	会議の定例化と情報共有を図ることができたが、職員アンケートからクラスを超えた情報共有や園の方針・教育要領等の理解促進は引き続き高めてゆく必要があるため。
子どもが安心して過ごせる環境の整備と対策の強化	A	冷暖房の設置や各所の補修などに取り組み、保護者アンケートからも例年の環境面の意見がほぼなかったことから一定の成果が得られたと考えられる。また昨今の風水害の事例を踏まえ、その対策と手順等の明確化を図った。
地域・保護者に対する園機能の還元	A	「おひさまオープンデー」を年間計画に位置付けたことで、ほぼ毎月実施することができ、ホームページでその都度、地域の方々に開催の案内を行うことができた。保護者向けのICT化の有効活用やツイッター等での情報発信について、検討後の方針が定められた。

◎「3」に評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼保連携型認定こども園教育・保育要領の研究及び実践に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児や幼児の横断的な情報共有を図る会議を創設する ・年間指導計画と月指導計画の連動性を高め、行事のあり方を再度検討する ・上記を推進するため、専門リーダーの役割の明確化と組織的な業務のまとめ役や課題解決などを担う人材の育成に取り組む
子どもが安心して過ごせる環境の整備と対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の設備の充実に向けて必要な修繕及び備品等の購入について、検討を進める。 ・安全・衛生管理などの各種マニュアルの周知や各種訓練の実施を行う。 ・地域ニーズに合わせ、待機児童の解消のための1・2歳児の受け入れ枠を増やし、その後の安全な保育と安定した生活環境を提供に努めている。
地域・保護者に対する園機能の還元	<ul style="list-style-type: none"> ・「おひさまオープンデー」及び「ことばの部屋」の維持と内容の充実を図る。 ・地域ニーズのさらなる把握の方法を模索し、今後の事業展開の検討を図る。